

しょうじょう ちゅうい 使用上のご注意

- 直射日光のあたるところやストーブの近く、電気カーペットの上など高温になるところでの使用や保管は避けてください。故障の原因となります。
- 本製品の分解や改造は絶対にしないでください。故障の原因となります。
- 本製品を落としたり、強い衝撃を与えたりしないでください。故障の原因となります。
- 本体ケースの汚れは、水または薄めた中性洗剤にひたした布をよくしぼって拭き取り、やわらかい布で空拭きしてください。なお、ベンジンやシンナーなどの薬品は絶対に使わないでください。故障やケースの変形の原因となります。
- ケーブルを無理に曲げたり、ひっぱったりしないでください。故障の原因となります。
- ケーブルを抜くときは、必ずプラグを持ってください。ケーブルを持って抜くと、故障の原因となります。
- プラグを金属などの異物や水などの液体に接触させないでください。故障の原因となります。
- 本製品は以下の環境で使用してください。
温度：5～35℃、湿度：20～80%RH（結露が発生しない状態）
本製品を寒いところから急に暖かいところに移動させたり、部屋を急激に暖房したり、または湯気が立ちこめている場所やエアコンなどの冷風が直接あたる場所に置いたりした場合、本製品の内部に水滴がつくこと（結露）があります。このような場合には、対応機種本体に接続せずに数時間置いてからご使用ください。結露が発生した状態で本製品をご使用になると、故障の原因となります。

本製品は、ミッションスティック対応ソフトで使用できます。（対応ソフト以外で使用すると、誤動作の原因となる場合がありますのでご注意ください。）ただし対応ソフトによっては、本製品の機能が一部使用できないものもあります。くわしくは、各ソフトの取扱説明書をご覧ください。

保証とアフターサービス

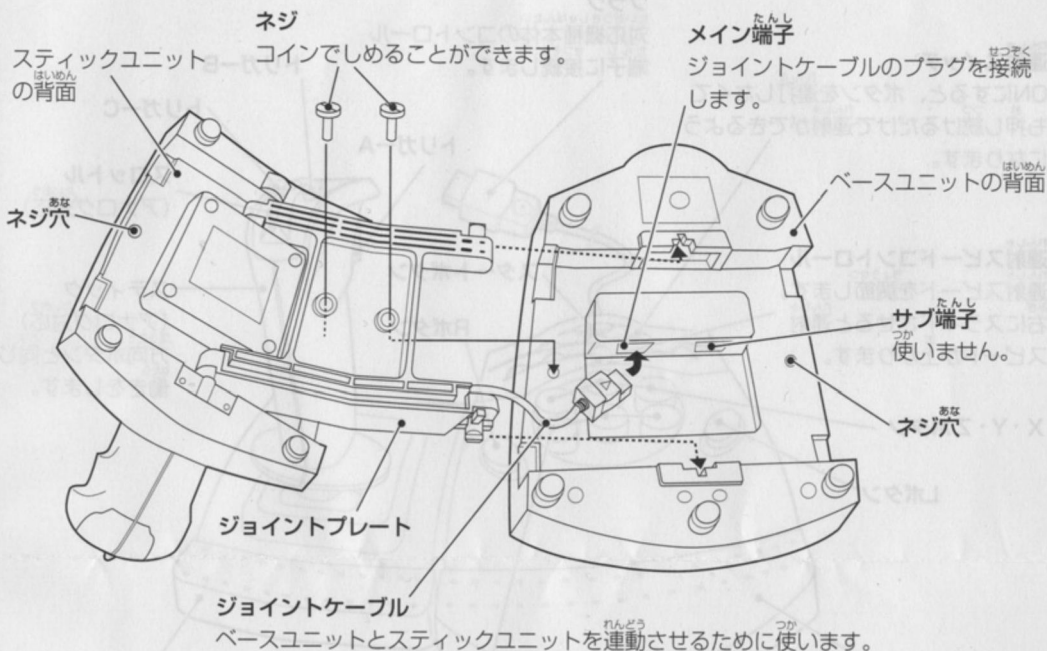
- 保証内容については、付属の保証書をご覧ください。（保証書の再発行はいたしません）
- 修理やアフターサービスについてご不明の点がありましたら、お買い上げの販売店または弊社お客様相談センター、または各支店のCSサービスセンターまでお問い合わせください。

保証規定

1. 取扱説明書に従った正常な使用状態で、保証期間内に故障した場合は、商品と本書をご提示の上、お買い上げの販売店、または弊社お客様相談センター、または各支店のCSサービスセンターまで修理をご依頼ください。無料で修理いたします。
 - (d) 本書のご提示がない場合。
 - (e) 本書にお客様のお名前、お買い上げ日、販売店の記入のない場合、あるいは字句を書きかえられた場合。
2. ただし次のような場合には、保証期間内でも有料修理になります。
 - (a) 指定以外の電源の使用などお客様の使用上の誤り、不当な修理や改造による故障および損傷。
 - (b) お客様または運送業者による輸送、移動、落下などによる故障および損傷。
 - (c) 火災、地震、水害、公害、異常高圧、その他、天災地
3. 本書は日本国内においてのみ有効です。
This warranty is valid only in Japan.
4. 保証期間経過後の修理については、お買い上げの販売店、または弊社お客様相談センター、各支店のCSサービスセンターにご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料で修理いたします。

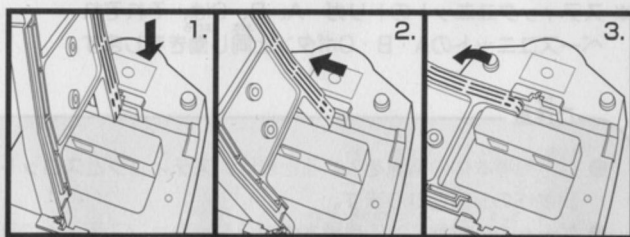
スティックユニットの取り付けかた

ジョイントプレートをベースユニットに差し込み、ネジをしっかりしめ、ジョイントケーブルをベースユニットのメイン端子に接続してください。(スティックユニットは、ベースユニットの左右どちらにでも取り付けできます。)



ジョイントプレートの差しこみかた

1. 上下の向きに注意してジョイントプレートをベースユニットにはめこみます。
2. ジョイントプレートを途中まで倒して引きます。
3. ジョイントプレートを倒します。



ご注意

- スティックユニットとベースユニットは、必ずネジとジョイントケーブルでしっかりと接続して使用してください。外した状態では、絶対に使用しないでください。故障の原因となります。
- スティックユニットを取りつけるとき、またはつけ替えるときは、指やジョイントケーブルをばさまないよう十分に注意してください。けがや故障の原因となります。
- ジョイントケーブルのプラグは、スティックユニットを左右どちらに取りつけた場合でも、メイン端子(ベースユニット裏面)に差しこんでください。
- メイン端子とサブ端子には指定以外のものは接続しないでください。故障や誤動作の原因となります。

対応機種本体の電源を入れる前に対応機種本体のコントロール端子に接続してください。操作方法は、ソフトによって異なります。くわしくは、各ソフトの取扱説明書をご覧ください。



※ スティックユニットのトリガー-A、B、Cは、それぞれベースユニットのA・B・Cボタンと同じ動きをします。

ご注意

- 対応機種本体の電源を入れるときは、スティックとスロットルを動かさないでください。動かすと、誤動作の原因となります。
- ゲーム中に故意に対応機種本体からミッションスティックを抜かないでください。誤動作の原因となります。万が一抜いてしまったときは、すぐに接続せずに10秒以上おいてから接続してください。